

工学部 機能高分子工学科 一年

上野知英

滞在先大学：ベトナム国家農業大学 滞在期間：8月20日～9月18日

*～日本語教室での指導内容～

現地の日本語教室は、日本語を始めたばかりの学生が集まる「ビギナークラス」・日本語の文法をある程度学習して、敬語など発展的なことを勉強している学生が集まる「アドバンスクラス」の二つに分かれていた

ビギナークラスで指導したこと

- ・ひらがな、カタカナ
- ・自己紹介
- ・漢字（現地の学生が興味持っていたから教えたのだが、画数が多いことと形が難しく途中断念）

アドバンスクラスで指導したこと

- ・文法を使った会話の練習
- ・日本人学生が文法を使って日本文の例を挙げる
- ・日本文化を教える
- ・日本の歌を歌う(日本人はベトナム語のカバーを歌った)

*～日本語教室以外での現地の交流活動～

平日は午前・午後ともに授業があったことから、休日に観光や遊びにベトナム人学生が連れてってくれた。具体的に、ベトナムで有名なホアンキム湖、ホーチミンのお墓などの観光地、そのほかにも海や陶芸体験などにもつれってもらった。また、私の派遣時期とベトナム独立70周年記念日が被ったので、多くの観光地で独立を祝う飾りや「ホーチミン」をたたえる風景が多くあった。その他にも、現地の大学に向けての企業説明会にも参加した。（もちろんベトナム語で説明されるので説明内容はわからなかったが、その会社は日本へ働く人を育成する企業であり、そのために私たち日本人学生が呼ばれたことを後で現地の人に教えてもらった。とくに私は一か月という他の日本人学生よりも滞在期間が長かったことから同じ観光地に何度も訪れたのだが、その都度新しい発見があり飽きることはなかった。また滞在中、日本語教室に通っている学生が誕生日を迎えたので誕生日会に参加してベトナムのお祝いを体験した。

*～自分の目標達成度や努力した経緯～

自分は現地についてすぐベトナム人と英語を使って会話していたのですが、自分の語学力のなさはもちろんのこと「ベトナムの英語」・「日本の英語」の発音の違いに負け、英語会話の向上を初日に断念しました。（暇なときに英語の勉強をした）このことから共通語なのだから「伝われば勝ち」ということを学べたし、何より初日の挫折で自分のベトナム留学に変化がありました。それは留学を通してベトナム語をある程度覚えたことです。日本語教室に来る学生は圧倒的にビギナークラスのほうが多く、ベトナム語しか伝わらない学生もいるので日本語を教えることは極めて困難であり「わかった？」ということすら聞けず最初は困りました。しかし、ベトナム語による日本語の文法書を教えるにあたって理解しようと授業中によみこんだり、現地の学生に聞いたりしていたらだんだんベトナム語の文法がわかるようになりました。授業では学生は日本語を覚え、私はベトナム語と一緒に学んでお互いのわからないことを埋めることができ、とても楽しく授業を進めることができました。また、自分がベトナム語をしゃべると現地の学生が自分に興味を持ちしっかりと授業を聞いてくれたりするので、現地の人とコミュニケーションをとるにあたって現地の言葉を覚えたことはとてもメリットが多かったと思います。「語学力」と「異文化理解」が今回のおおまかな留学目標だったのですが、ベトナム語を覚えなければこの二つの目標を達成することができなかつたと思います。異文化理解について、目に見える風景や現地の人との交流で感じるところもありますがベトナム語に表れている異文化となる部分もおおく存在していて、あえてベトナム人とベトナム語でしゃべることによって「訛り」に遭遇することもあったりなど貴重な体験ができました。「語学力」について、留学前は「語学」は英語のことを指していたのですが、さして英語がのびなかつたという事実とベトナム語を覚えたことで語学を学ぶ楽しさを感じたり、自分が英語がどれだけできないかと痛感したり課題がわかつたのである程度達成できたと思います。（本当はもっと現地での体験を書きたかつたのですが割愛させていただきます。）

*～プログラムに参加した感想～

このプログラムで留学を決めた当初、自分は不安で仕方がなかつた。なにせ初めての留学、初めて一人で飛行機搭乗、初めてのカプセルホテル？・・・etc。でも初めてや不安にまみれどうしようもなかつたのも束の間で、振り返ると多少のトラブルはあつたにせよすべてこなせていたというのは昔の自分がとても驚くだろうと思います。それほど私はこのプログラムで人として成長でき少しは大学生になれたのかなと思います。自分にとって一番大事にしていることは「経験」ですが今回の留学でいろいろ人に出会い、いろいろなこと挑戦することで多くの経験を得て、またその経験を自分に還元することが重要だとこのプログラムを通して気づかされました。

*～今後の展望～

今回の留学で自分の英語力の低さ並びに、計画性のなさを痛感したのでこれを克服するためにも目標・計画をたて英語を勉強してゆくゆくは語学留学をするために日々精進していこうと思います。また一年生でこのプログラムに参加させていただいたことは自分のこれからの大学設計を大きく変えてくれました。最後に、このような貴重な機会をくださった教授、学長をはじめとした先生方並びに、自分を献身的に支えてくれた国際交流室の皆様方、さらに物心両面で支えていただいた両親に感謝の意を表し、この報告書のまとめとします。



